

第七十三回 帝國議會貴族院 國民健康保險法案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十三年二月二十二日(火曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ是

ヨリ國民健康保險法案ノ委員會ヲ開會致シマス、前回ニ引續キ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵高木喜寛君 私ハ國民健康保險委員

會ニ付テチヨット御伺ヒシタインデアリマス、此ノ本制度ガ實施サレマシタ曉ニハ、

健康保險委員會ト云フモノガ設ケラレルノデアリマスガ、本委員會ハ本制度ノ中心タ

ル醫療組織ニ關シテ重大ナル發言權立ニ責任ヲ有スルモノト思ハレマスガ、本委員會

ノ構成ニハ、唯各關係團體ノ代表者ヲ名目

的ニ集メルノミナラズ、此ノ診療ニ對シテ最モ直接責任ノアル醫師ノ代表者ヲ相當多

數ニ入レルコトガ適當デアルト思ヒマスガ、政府ニ於テヘドウ御考ニナッテ居リマスカ

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 御話ノ點ハ

御尤デアリマシテ、政府ニ於テモ單ニ形式的ナ或團體ノ代表者ト云フ意味デハナク、相當權威アル御經驗ノアル方々ヲ網羅シテ組織シタイト考ヘテ居リマス

○男爵高木喜寛君 次ニ御伺ヒシタインハ、

本制度ヲ運用スルニ當リマシテ、醫療ニ關

スル或種ノ監査ヲ行フト思ヒマスガ、其ノ方法ハドウ云フ風ニナサルノデアリマスカ、

醫師法ノ第六條ノ二ニ「地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ必要アルトキハ命令

ノ定ムル所ニ依リ衛生官吏ヲシテ診療錄ヲ

查閱セシムルコトヲ得」斯ウ云フ風ニ規定シテアリマシテ、嚴シク此ノ醫療ノ特殊性

竝ニ患者ノ祕密保護ラスルノガ明カニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ本年ノ正月カ

ラ實行サレマシタ母子保護法施行規則ニ於キマシテハ、第八條ニ「市町村長ハ其ノ指

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報告ヲ微シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト規

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報告ヲ微シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト規

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報告ヲ微シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト規

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報告ヲ微シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト規

○政府委員(進藤誠一君) 御答ヘ申上ダマ

ス、國民健康保險法ニ基イテ保健醫ヲ監査

致シマスルノハ、醫師法ニ基クノデナ、其ノ組合ト保険醫トノ間ノ契約、是ハ團體契約

ノ定ムル所ニ依リ衛生官吏ヲシテ診療錄ヲ

查閱セシムルコトヲ得」斯ウ云フ風ニ規定

シテアリマシテ、嚴シク此ノ醫療ノ特殊性

竝ニ患者ノ祕密保護ラスルノガ明カニナッ

テ居ルノデアリマス、然ルニ本年ノ正月カ

ラ實行サレマシタ母子保護法施行規則ニ於

キマシテハ、第八條ニ「市町村長ハ其ノ指

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報

告ヲ微シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」ト規

定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ

醫療ニ關シ帳簿書類ヲ調査シ、必要ナル報

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ヲヤル場合モアリマス、個人契約モアリマスガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

當ラシメルノガ至當ト思ヒマスガ、今回代行ヲ御許シニナルコトニナツタノデアリマス

ガ、此ノ前ノ七十議會ニ於キマシテ、其ノ當時ハ產業醫療組合ガ僅カ二百位アツタ其

ノ中、二十組合ニ御許シニナルト云フヤウニ伺ヒマシタガ、今日デハ產業醫療組合ハ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

スガ、此、契約ヲ致シマシテ監査ニ應ズル

ト云フコトヲ契約シマシテ、其ノ契約上ノ

ナ場合ニハ例外的ニ之ヲ認メルト云フコト

ニ考ヘテ居リマス、從ツテ只今ドノ位ノ數ヲ

許スカト云フコトニ付テハマダハッキリシ

タ數字ハ出シ得ナイノデアリマシテ、認可

ノ際ニ嚴選シテ之ヲ許ス、建前ハ飽迄モ兩

立デハナイノデアリマシテ、健康保險組合

ヲ十分ニ普及サシテ行クト云フ考デアリマ

ス

○下村宏君 大臣ニ御伺ヒスル前ニ政府委

員ノ方カラデ宜イノデスガ、大體五十萬圓

ノ豫算デ、百二十箇所ヲ設ケルコトニナッテ

居リマスガ、此ノ後ノ大凡ノ見込ガ、此ノ

前モ御話アッタヤウデスガ、其ノ大體ノ增

設ノ見込ト、ソレカラソレ等ヲマア取敢ズ

一縣ニ三箇所位トシテドウ云フ場所へ先づ

置ク御方針ニナッテ居リマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 御答ヘ申上ゲマ

スガ、此ノ十三年度ニ付キマシテハ、此ノ

前野村サンガ御話ニナッタヤウデアリマス

ガ、十三年度以後ニ付キマシテハ、昨日實

ハ持ヲ脱イダ話ヲセイト云フコトデ極クマ

ダ未定ノ内輪ノ御話ヲ大體申上ゲタノデア

リマスガ、矢張リ其ノ程度デアリマシテ、

十三年度以後ニ付キマシテハ厚生省ト致シ

テハマダ決定致シテ居リマセヌシ、大藏

省トモ約束ハナイノデアリマシテ、來年

度ノ豫算ヲ提出致シマス時ニ更ニ検討致シ

マシテ、議會デノ色々御意見モアリマシタノ

デ、十分早ク普及促進スルヤウニ取計ラヒ

タイト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ一

ツハ、先ヅドウ云フ方針デドウ云フ方面ヘ

普及ヲスル考デアルカト云フコトニ付キマ

シテハ、是ハ實ハ大體的ニ申上ゲマスレバ、

最モ必要緊切ナモノヨリ許ス積リデ行ク、

斯ウ云フコトデゴザイマスガ、必要緊切ダ

ト言ヒマスノハ、先ヅ健康狀態、衛生狀態

ノ惡イ村、或ハ村ニ醫者ノナイ所トカト云

フヤウナ所ハ必要デアルト思ヒマス、ソレ

カラ初年度ニ於キマシテハ、モウツス様

ナ考デアリマスガ、何分全國ニ百二十組合

作ツテ置キマシテ、初年度ハ大體ニ於テマア

模範的ノ「モデル」ヲ作ルト云フヤウニ致シタ

イ、從ヒマシテ全國ニ百二十組合デアリマ

スノデ一縣ニ三ツニ足ラナイ位デアリマス

ルカラ、マア各府縣ニ大體普及シマス、

一ツヤ二ツハ各府縣ニ必ズアル、ソレカラ

尙必要緊切ナモノニ對シテハソレ以上ニス

ル、斯様ナコトデ初年度ハヤッテ見タイト

云フ考デ居リマス

○下村宏君 今度厚生省ガ出來テ、一省ニ

ナッタノハマア其ノ能率ヲ増スト云フ意味

カラ、此ノ醫療ノ施設ガ要スルニ全國ノ都

市ニ普及サレテ居ラヌト云フコトガ、斯ウ

云フ法案ノ出タ所以デアルノデスガ、一方

デ濟生會トカ、或ハ赤十字社トカト云フ所

デモ相當ノ施設ハ是ハマア大キイ都會地ニ

ハアル、ソレカラ簡易保險局ナドモ健康

相談所トカ、或ハ何カ巡回相談所トカ色々

ナモノガアルノデスガ、其ノ仕事ノ性質ガ

多少違フト言ヘバ違フノデアルガ、何トシ

テモ此ノ法ガ出來テ、如何ニモ五十萬圓、

百二十箇所位ノ進ミ方デヘ聲バカリ大キック

テ實ガ舉ラナイヤウニ思フ、恐ラクハ官民

ヲ舉ゲテ普及ヲ圖ル、サウ云フ意味カラ言フ

ト、今言ッタヤウナ特殊ノ施設モマアソレドヽ

協調シテ、一面ニハ重複シナイヤウニ、又

一面ニハ是ハモウ健康保險ノ契約者ダケ

デ宜イトカ、或ハ是ハ唯健康相談所ガ宜イ

ト云フコトダケニ止マラズニ、此ノ全體ノ

仕事ノ上ニ協調シテ行ク爲ニ、重複ヲ避ケ、

ソレカラ又成ルベク助ヶ合ツテ、多少補助ヲ

シテデモ此ノ普及ヲ間接ニ圖ッテ行クト云

フ何カ途ヲ講ゼラレタイト思フノデアリマ

スガ、之ニ對スル當局ノ御意見ヲ御聽キシ

ニ盡シテ行キタイト思ッテ居リマス

○下村宏君 更ニ希望ヲ添ヘテ御意見ヲ伺

ヒタイノデスガ、過般此ノ委員會デモ小學

校ノ先生ガ早ク其ノ職ヲ去ラネバナラヌコ

トニナッテ、ソレカラシテ自然都會ヘ行クト

云フ、其ノ氣分ガ矢張リ同ジヤウニ兒童ニ

モ移ッテ行ク、ノミナラズ又自然都會ヘ行ツ

テ病ヲ得テハ農村ニ戻ツテ來ル、ト云フ

點ニ付テ當局トノ意見ノ交換ガアッタノデ

スガ、丁度今文部大臣ガ厚生大臣ヲ兼ネ

テオイデデアリマスカラ、マア好イ折ト思

ヒマスガ、我々が地方ヲ廻ツテ見テイツモ痛感スルノヘ、小學校ガ其ノ土地ノ民度ニ必ズシモ比例セズニ可ナリ物的ノ施設ニ相當負擔ガ重クナル、其處ヘ年々學齡兒童ガ殖エテ行クカラドウシテモ學級ガ増シテ來ル、要スルニ地方財政デハ此ノ小學校教育ト云フモノガ大キナ負擔デ年々増シテ行ク、其處ヘ今各師範學校ノ卒業生ノ數ガ相當其ノ需要ヲ越エル爲ニ、サウ云フ人達ニ此ノ途ヲ開クト云フコト、ソレカラ今ノ町村ノ財政ガ苦シイ爲教員ノ俸給ノ平均ヲ幾分トモ下ゲテ助カリタイト云フ氣持デ、少シ給料ノ高クナッタ者ハ押上ゲラレテ罷メネバナラヌ、サウ云フコトガマア多少此ノ教員ノ安定ヲ缺ク、過般長野縣邊リデ可ナリ赤化問題ナドニ觸レルト云フヤウナコトモ矢張リサウ云フコトガ根柢ニナッテ居ルノデハナイウ云フコトガ相当考ヘラレカト思ヒマス、マア一言ニシテ言フト、小學校ノ教員ニナルベキ師範學校ノ年々ノ卒業生ノ數ト、ソレカラ一方デ罷メテ行ク人トノ需給ノ調節ト云フコトガ相當考ヘラレルノデナイカ、ソレガ師範教育ノ方ノ側デアリマス、今度ハ此ノ健康保險ニ付テノ醫者ノ方ノ側ニナリマスト、過般來衆議院デモ色々其ノ點ニ付テ話サレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ速記録ニ依ツテモ醫者ノ數ハ

昭和二年ニ四萬七千百十人、ソレガ十年ニナルト五萬七千五百八十一人ニナッテ居ル、サウ云フヤウニ醫者ハ絶対ニ數ハ殖エテ居リマスガ、今度無醫村ノ數ハ昭和二年ニ二千九百九箇村デアツタノガ、昭和九年ハ反對ニ三千五百二十七箇村ニナッテ居ル、ソレカラ是ハ在來地方ニ居タ所謂古イ方ノ側ノ醫者ガ段々ナクナッテ、今度新ラシイ大學出ト云フヤウナ者ハ田舎ニハ足ガ向カヌト云フヤウナコトモ大キナ原因デハアラウト思ヒマスケレドモ、實ハサッキ此ノ施設ノ方針ヲ御聽キシタノハ此ノ意味デ、私共地方ニ參ツタ實況ニ依ツテモ、ナカノ地方ニ點在シモ、其處ニ居タテ可ナリ交通ノ不便ナ場所ヲテ居ル山間ノ處デ、醫者ニ來テ吳レト言ッテモ、伊ノデアリマシテ、都會ニハ相當多數ノ醫者ガ居リマスガ、田舎ニ行クトナカノサウ云フ所ニ醫者ノ普及ラスルト云フコトハ給與ト云フ外ニ、此ノ精神的ノ何ト言ハシテ此ノ方面ニ廻スト云フコトハ出來マセシ、非常ニムツカシイ點モアルノデアリマス、併シ斯ウ云フモノガ又普及致シマスレバ、相當醫療ヲ求メル者モ手輕ニ求メラシテ此ノ方面ニ廻スト云フコトハ出來マセシ、又學校ノ方ノ事ニ付キマシテハ、只今格ガ皆上ヅテ來テ居ル、醫學專門學校ノ方ガ卒業生ガ少イト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマスガ、中ニハモウ少し、何ト言フカ簡易ナ程度ノ低イ、詰リ專門學校ノ

方ヲ増シテ、サウ云フ方ノ又供給ヲ充實セヌト、假ニ施設ノ方ガ出來テモナカノソレガ手ガ足ラヌノデヤナイカト云フ點モ懸念サレル、ソレカラ無醫村アタリデアレバ、進ンデ相當ノ俸給ヲ、安定サレルダケ定額ヲ與ヘルカ何カノ方針ガナイト、全體ニ今度ニマス、唯是等ハ又醫術ノ方カラ見マスレバ、餘リ簡易ニ見マスト生命ヲ御預リスル人間ノ醫術ノ低下ト云フコトノ問題モ起リマスシ、ソレ等ハ十分考慮致シマシテ、斯クノ如キ缺陷ノナイヤウニ將來考ヘテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君)只今御尋ノ點ハ御尤ナノデアリマシテ、醫者ノ數ト云ノ仕事ハソレダケ仕事ガ多ケレバ、無論報酬ガ多ク、收入モ多クナル、無論醫師ノ場合モ同ジデアリマスルガ、唯併シソレデハ病人ガ多イ方ガ宜イカト云フト、是ハ少イ方ガ宜イト云フコトデ、斯ウ云フ施設ガ段々出来、更ニ之ニ加フルニ問題ヘ豫防スルト云フ問題ニナルノデアリマス、患者ガ出來タラ之ニ對スル施設ガ十分ニ行クト云フコトガ必要デアルガ、第一サウ云フ患者ノ出来ナイヤウニスルト云フコトガ、是ガ矢張シテ此ノ方面ニ廻スト云フコトハ出來マセシ、又學校ノ方ノ事ニ付キマシテハ、只今リ厚生省ナドノ出來タ大キナ原因デアリ、又體力局ナドノ出來タ所以デアルト思ヒマス、ソレデ衛生ト云フ側デ、豫防ト云フコ

トガ非常ニ大事デアリマスカラ、各方面ノ
此健康保険ノ組合ノ醫者ト限ラズ、厚生省
ノ息ノ掛ル限り各方面デ豫防シテ患者ノ出
來ナイヤウニト云フコトニ努力セネバナラ
ヌ、段々患者ガ今度少クナルト、收入ガ又
減ルト云フ意味デ、茲ニ見方ニ依ルト一ツ
ノ矛盾ガ出來テ來ル、是ハ醫者ノ方ノ側デ
アリマスガ、組合員ノ側ニモ同ジヤウナ場
合ガアリ得ル、是ハ過般斯ウ云フ問題ノ時
ニ、最モ成績ノ好イ見本トシテ埼玉ノ越ヶ
谷ノ醫療組合デアリマス、此處ニ我々參觀
ニ行ッタ時デモ誠ニ町民ハ純朴デ、病氣ノ數
ガ重ナルト、却テ遠慮スル氣味ガアル、何
故遠慮スルカト云フト、一般ノ人ガ皆組合
ノ費用ヲ出シテ居ル、病氣ニナラヌ人ハ一
向出シ損デ詰ラヌ、病氣ニナッテ居ル所ハ盛
ニソレヲ利用シテ藥ヲ貰ヒ、色々手當ヲ受
ケル、餘リ斯ウ受ケテハ氣ノ毒ダト云フ意
味デ、却テ遠慮スルノダト云フコトヲ、其
ノ場所デ私共ハ聽イタ、處ガ又他ノ或人ハ
ソレハサウデハナイ、本人ハ度々行キタイ
ガ、餘リ度々行クト、一向會費バカリ出シ
テ、組合費ダケ出シテ利用ニ與ラヌ連中カ
ラ、寧ロ怨聲ヲ聞クカラ、已ムヲ得ズ遠慮
スルノダト云フヤウニ、又批判スル入モア
ル、是ハ色々ダラウト思フ、之ヲモウ一ツ

裏カラ言フト、此ノ組合ガ出来テ銘々ガ出シテ居ル時ニ、皆ガ自分ハ組合ノ費用ヲ出シテ居ルノダケレドモ、併シ幸ニ健康デ御居ルノハ有難イト斯ウ思ヘバ宜イガ、サウデハナイ、多數ノ田舎ノ組合員ノ中デハ、俺ハドウモ出シテバカリ居ッテ、只デ奉公シテ居ルノダ、ソンナコトデハ詰ラヌカラ脱退スルノダ、又能ク世話ニナッテ居ル、アイツハウマイコトヲヤッテ居ルト云フヤウナ氣持ニナルト、是モドウモ茲ニ同ジ似タ矛盾ガ起ツテ來ル、私ノ伺ヒタイト云フ意味ハ何カ政府デ此ノ仕事ヲヤッテ行ク上ニ、各町村ノ衛生ノ状態ヲ一面ニ調べテ、ソコノ季節ニ依ツテ流行ノ感冒ガアルトカ何トカ云フ問題ガアリマセウガ、大體ニ於テ其ノ村ノ衛生状態ガ段々良クナッテ來タ、體位方向上シテ來タ、或ハ又患者ガ少クナッテ來タト云フ時ニハ獎勵金ト言ヒマスカ、何カサウ云フモノヲ與ヘテ、サウ云フ不平ノ聲ノ起ラヌヤウニ、又サウ云フコトノ豫防ナリ治療ニ盡力ラスル醫者トカ、サウ云フ係ノ者ニハ、患者ガ減ツテ收入ガ減ツテモサウ云フ方ノ獎勵ト云フ意味デ、却テ其ノ村トシテハ非常ニ是ハ目出度イコトダ、良イコトダト云フコトデ、其ノ成績ト患者ノ數ノ少クナ

ル時ニ、反対ニ其ノ成績ニ依テ奨勵金ヲ與ヘルトカ、補助ヲ増ストカ、手當ヲ吳レルトカ、何カサウ云フヤウナ方面ニモ考慮シテ戴クコトハドウカト云フヤウナ感ジラ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ必ズシモ大臣デナクツテ宜イノデアリマスガ、當局ノ御考ガアレバ伺ヒタイ

タト云フコトニ付テハ是ハ組合トシテ保険料ノ一部割戻シヲシテヤル、斯ウ云フコトモ致シテ居ル例ガアリマス、サウ云フコトヲヤラセルヤウニシタラ大變宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ最後ニ成績ガ良クナツテ行ク、保健衛生状態ガ良クナツテ行クト云フコトニ付テハ、其ノ組合ノ努力ヲ認メマシテ政府ト致シマシテハ、之ヲ表彰スルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ行キタイ、斯ウ云フコトハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙御趣旨ノアル所ヲ能ク又後デ研究モ致シテ行キタイト思ヒマス、一應御答ヘ申上ゲマス

サウ云フ不心得ナ醫者モ隨分出テ來ルノデ
スカラ、矢張リ唯表彰ト云フ外ニ其ノ成績
ニ依ツテ患者ヲ餘計扱ッテ收入ノ多イノモ宜
イガ、少クシタモノモ亦矢張リ相當收入ノ
途ヲ開クト云フコトニ付テ、是ハ考慮ヲ願ッテ
置キタイ、ソレカラ是ハドウモ私共數字
ダカラヨク分ラナイノデスガ、八百七十六
圓ノ事務費ト云フコトデ、一人ノ事務員ノ
月額ガ三十五圓ト云フヤウナコトデ、此ノ
仕事ヲヤツテ行クノデアリマスガ、無論段々
組合員ガ殖エテ行キ、ソレカラ年ガ經テ吳
ト云フコトハ考ヘラレルガ、今日ノ補助ノ
レバ、初メノ時ヨリモ費用ノ率ハ減ッテ來ル
歩合ニシテモ、事務費ニシテモ端的ニ言ツテ
モ物價ノ騰貴ト云フコトガ茲ニ必ズ伴ッテ
來ルコトト、ソレカラ恐ラク是ハ實現シテ
見ルト補助モウ少シ増サナケレバドウモ
困ルト云フ聲ガ起ルノヂヤナイカ、ソレカ
ラ事務費モ斯ウヤツテ見タガ、ドウモ物價騰
貴、其ノ他ノ原因デ已ムヲ得ズ是ダケ騰リ
マスト云フコトニナルノヂヤナイカト思フ
ノデアリマス、現在ノ儘デモ是ハ相當困難
デアツテ、一體ナラ私共産業組合ガ既ニ在來
ノ施設ノアル以上ハ、ソレデモ利用シヤ
ル方ガ普及モ圖レルシ、多少今迄アルモノ
ガ利用サレルノダカラ、ソレヲ一ツ擴大シ

テ行クト云フコトガ宜イノデヤナイカト思
フノデス、又一面ニ産業組合ガ殆ド何モ彼
モドン／＼ヤツテ行ク、サヲシテ免稅トカ色
色ナ特權ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ處ガ、地
方ノ自治行政ノ上ニモ相當考ヘラレルノ
デ、ナカ／＼此ノ利害ハ複雜デアツチ、斯ウ
云フ議論ヲ此處デヤルトスレバ際限ガナク
ナリマスガ、單純ニ、割合ニ少イ費用デ
早ク普及シテ行クコト、云ヘバ、少クモ在
來ノ施設ヲ活用スルト云フコトモ考ヘラレ
ル、今度ハ大體新タニヤツテ行クトスルト、
自分ハドウモ此ノ豫算ハ數字ニ於テ少シ少
キニ失シテ居ル、是ダケデハナカ／＼ヤリ
ニクイ、又延イテ此ノ補助ノ額モ是ダケデ
ハ濟マナイ、ソレダケヲ覺悟デ、更ニ將來
ノ普及ヲ圖ラネバナラヌノデアリマスカ
ラ、相當厚生省トシテ仕事モ重イノダラウ
ト思ヒマスガ、是等ニ對スル御成案ガアル
ノカ、自分達ハドウシテモ普及ト云フコト
ガ主デアツチ、決シテ産業組合トカ、醫師會
トカ、ソレガドウト云フノデハナイ、兎ニ
角全國ニ三千ニ餘爾無醫村スラアルノ元ア
リマスカラ、ソレ等ノ點ヲ押切ツテ普及シテ
戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスガ、ソ
レニ對スル御意見ヲ承リタイ

ニ御尤デアリマス、經費ガ是デヤッテ行ケル
カドウカト云フコトト、補助金ガドウモ足
ラヌデヤナイカト云フ御意見ハ、衆議院デ
モ外デモ隨分出ルノデアリマシテ、十分私
共トシテモ傾聽致シテ居ルノデアリマスガ、
今迄私ノ方デ調ベタ所デハ、現在ノ健康保
險、ソレカラ又國民健康保險ノ類似組合等
ノ狀況カラ、マア是デヤレルダラウト云フ
見込ヲ立テ居ルノデアリマスガ、御説ノ
通リ物價モ騰ツテ來ル、將來ヤツテ見テ是デ
ハナラヌト云フ聲ハ或ハ起ルカモ知レマセ
ヌ、ソレニ付キマシテハ成ルベク經費ヲ無
駄ノナイヤウニ節約シテ行キタイ、ソレデ
金ハ掛ラナイヤウニシテ行ク、斯ウ云フコ
トハ是ハモウドコ迄モ、幾ラ補助金ガ増サ
レタトシテモ、節約ニ節約ヲ重ネテ行クベ
キモノト考ヘルノデアリマスカラ、ソレデ
組合ノ事務所等ニ付テモ新タニ建テルトカ
借リルト云フヤウナコトハ成ルベクシナイ
デ、産業組合ノ建物ガ使ヘルトカ、或ハ町
村役場ニ使ヘル部室ガアルト云フナラバ、
成ルベクソレヲ利用スル、人ニ付キマシテ
モ産業組合ノ職員ナドヲ利用シテ仕事ヲシ
テ行クト云フヤウナコトヲシテ、實際ニ於
テ經費ヲカケナイヤウニシテ行キタイ、ソ
レガ爲ニ既設ノ團體等ハ十分利用シテ行キ

○下村宏君 終リニ大臣ノ御意見ヲ伺ツテ置キタインデスガ、要スルニ病氣ニナツテ治療ヲスル、之ニ先立ツテ成ルベタ病氣モ少クスル、豫防衛生、ソレカラ更ニ進ンデ體位ヲ向上シテ行カネバナラヌト云フノデ、既ニ厚生省ガ出來テ體力局ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ハマヤ當然過ギルコトト思ヒマスガ、今度ハ無論省ガ出來、ソレカテ今仕事ヲ始メル時ニナツテ居ルモノ、如何ニモ體力局ノ豫算ト云フモノガ餘リニナイト云ツテモ宜イ、ドウカ此ノ點ハ學校ニ入ル前ノ乳兒、幼兒ノ死亡率ガ特ニ日本ハ歐米ヨリモ二倍、三倍ノ高キニ達シテ居ルカラ、母性ノ衛生知識ノ普及トカ、又積極的ニ乳兒、幼兒ノ健康増進、又學校デハ相當ノ運動ノ設備ハ事實アリマスガ、是モ矢張リ選手トカ、上ノ級ノ人トカ云フ一部ニ使ハレテ、ナカノ是モ普及出来ニクイ、况シヤ學校以外ノ者ハ特ニ運動ノ設備ニ惠レテ居ナイ、是ハ學校ノ設備デモ時間外ニ、其ノ土地ノ學校以外ノ者ニモ利用サセル、更ニ又サウ云フ施設ヲ増シテ行ク、ソレカラ今度ハ學校ヲ出タモノモ、三十臺ニナツテモ、四十臺ニナツテモ運動ヲ續ケルヤウニ獎勵ノ途ヲ講ジテ行ク、マア「トイ

○政府委員（進藤誠一君）只今ノ御意見誠

第四部第九類 國民健康保險法案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十三年一月二十一日

貴族院

ツ」アタリノ十八歳以上三十二歳、三十二歳カラ四十歳、四十歳以上ト云フヤウニ分ケテ、ソレグ「スポーツ」ノ徽章ヲ送ッタリシ、或ハ「アルバイト・ディインスト」ノヤウナモノモアリマスガ、省ガ今度ヘ出來ル時デアリマスカラ、特ニ厚生省ガ出來タ所以ニ鑑ミテ、是非來ルベキ年度ノ豫算、或ハ追加豫算デ體位向上ト云フコトニ付テドウカ十分ナ御考慮ヲ願ヒタイ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今御話ノ通リ厚生省ノ一面ノ大キナ意味ハ國民ノ體位ヲ向上スルト云フコトデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ從來衛生局ダケデヤッテ居リマシタ仕事ヲ體力局、豫防局、衛生局ト云フヤウナ三ツノ局ニ迄擴充致シマシタ、御話ノヤウニ病氣ニナックモノヲ癒スト云共ニ、又積極的ニ體育ニ依リマシテ體位ノ向上ヲスルト云フコトニ盡力シテ行クコトニナッテ居リマス、御話ノヤウニ省ガ出來マシテ間モナクデアリマシタ爲ニ、新タニ分レマシタ體力局ト云フ局ガ一番今日ハ貧弱デアリマス、從ツテソレガ又同時ニ發展性ヲ持テ居ルトモ言ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テモ十分努力スル積リデアリマス、

又豫防方面ニ付キマシテハ最近開設サレマス公衆衛生委員等ニ於キマシテ豫防方面、殊ニ環境衛生、或ハ上下水道、汚物ノ處理ト云フヤウナ方面ニ迄漸次研究ヲ進メマシテ、特ニ是等ノ技術員ヲ養成致シマシテ、ソレヲ漸次社會ニ送リ出スト云フコトニ依リマシテ、單ニ病氣ノ狹イ意味ノ豫防以上ニ此ノ環境等モ考慮ニ容レマシテ、全體力ヲ見マシテ、國民ノ體位ヲ向上シ、衛生ヲ改善シテ行クト云フコトニ努力シヨウト考ヘテ居リマス

○濱口儀兵衛君 此ノ組合ガ出來マスレバ、中產階級以下ノ方々ノ醫療ニ對スル惱意味ニ於キマシテ從來衛生局ダケデヤッテ居リマシタ仕事ヲ體力局、豫防局、衛生局ミガ大變助カルノデアルカラ、是非斯ウ云フ風ナモノガ出來ルコトヲ、御願ヒシタ云フヤウナ三ツノ局ニ迄擴充致シマシタ、御話ノヤウニ病氣ニナックモノヲ癒スト云ト云フヤウナ三ツノ局ニ迄擴充致シマシタ、御話ノヤウニ病氣ニナックモノヲ癒スト云共ニ、又積極的ニ體育ニ依リマシテ體位ノ向上ヲスルト云フコトニ盡力シテ行クコトニナッテ居リマス、御話ノヤウニ省ガ出來マシテ間モナクデアリマシタ爲ニ、新タニ分レマシタ體力局ト云フ局ガ一番今日ハ貧弱デアリマス、從ツテソレガ又同時ニ發展性ヲ持テ居ルトモ言ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テモ十分努力スル積リデアリマス、

餘程力ニナルモノダト思ヒマス、處ガ補助費ガ……私ハ昨年モ此ノ保險組合ノ委員ニアッタノデ、多分同ジデヤナイカト考ヘタデスガ、最初ハ一圓デアッテ、漸次減ッテ來テ五十錢ニナル、確カ五十錢ニナルノハ二年カ三年カ後デアッタヤウニ思ヒマス、處ガ五十錢全部皆貰ヘルナラバ宜イデスガ、是モ先日來ノ御説明ニ依ルト……本年ノ説明デアッタデスカ、昨年ノ時ノ御話デアッタカ、ツイ忘レマシタガ、六分位ヲ全部一般ニ補助シテ、後ノ四分ヲ保留シテ置イテ、貧弱町村トカ、特ニ病氣ノ多カッタ村へ補助スルト云フヤウナ御話デアル、サウスルト五十錢ノ六分ト云フト一般ニ行クモノハ三十錢シカナイヤウニ思フ、甚ダ貧弱ノヤウニ思フデスガ、併シマア是ハ本年斯ウヤッテ御決メニナッテ居ルノデ、今ドウト云フ譯ニ行カナイト思ヒマスガ、今後其ノ點ナドニ付テモウ一度御考慮ヲ御願ヒシタイト思フ、ソレデ此ノ組合ハ成ルベク廣く普及サセルコトガ最モ必要デアルノデアル、從ツテソレニハ成ルベク此ノ醫療組合ヲ拵ヘテ醫療費ヲ悪クシテ安クスルト云フコトハ最モ惡イコトデスケレドモ、所謂補助費ガ矢張リソレノ

云フ風ナコトガ必要ダト思フノデスガ、處ガソレニ付テチヨット私ハ能ク分ラナカッタデスガ、オ醫者サントノ契約ヲスル場合ニハ矢張リ現在ノ醫療費デ約束サスノダト云フ風ナ意味ノヤウナ風ニ御説明下スツクデスガ、或ハ私ノ伺ヒ違ヒカモ知レマセヌガ、若シカソンナヤウナ風デアルト、一般カラ言ヘバ僅カ三十錢シカ補助ヲ貰ハナクテ、サウシテ醫者ト契約スルノニハ矢張リ知事ノ指定スル範圍ト云フコトニナルト、結局醫師會ト約束スルコトニナルデスガ、詰リ醫師會ノ規定通リデ約束スルト云フ風ナコトニナルト、三十錢ダケノ補助ヲ貰ッテヤッテ行クノデヤ相當矢張リ安クナラナイト思フデスガ、ソレガ爲ニ或ハ地方ニ依ッタラ實費診療院ノヤウナモノヲ拵ヘテ行ケバ政府カラ僅カバカリノ補助ヲ貰ハズトモサウヤッタ方ガ結局安ク行クト云フコトニナル、必ズシモ實費診療院ノヤウナモノヲ拵ヘテ行ク方ガ宜イト思ハナイガ、是ハ矢張リ醫師會ト適當ノ約束ガ出來テ、サウシテコトガ一番宜イト思ヒマスガ、若シカ醫師會トノ間ニ幾分カ此ノ契約スル場合ニハ特別ニ安クスルトカ何トカ云フコトハ出來ナ

イデアラウ、ドウモ餘り保険組合ヲ持ヘルコトハ勿論宜イノデスケレドモ、政府ニ干渉シテ貰フ御蔭ト云フモノハ何ニモナイヤウナモノデ、勿論組合ガ出来タ場合ニハ醫師會トノ話ハ色々ナモノガ出来ルダラウト思フガ、併シ其ノ場合ニ、銘々勝手ニ委シテ置イタラ、特ニ醫師會ヲ組合ノ方デ壓迫スルトカ、反對ニ醫師會ノ方カラ組合ガ壓迫サレルト云フヤウナコトガ出来テ來ルヤウナコトデ、是ハ幾分カ政府ノ方デ、大體イデ、其ノ代リ患者ノ數ハ殖エルト云フコトガ一面ニアルノダカラ、成ルベクソソナ風ニ出來ベキモノダト思フノデスガ、私ハ先日來ノ御話ニ聞キ違ヒガアツク爲ニ安居ルノカモ知レナイガ其ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 御答ヲ致シマス、先日來ノ私ノ御答辯ガ簡単デゴザイマシタカラ、或ハサウ云フ御疑問ノ起ルノハ御尤デアリマス、ソレハ斯ウ云フ譯ナノデアリマス、此ノ組合ト致シマシテ、是ハ一面經濟的ノ負擔ヲ輕クスル、生活ノ安定ニ資スルト云フコトガ一ツノ目的デアリマスカラ、無論安ク醫療費ヲ、安ク醫療ノ出來ルヤウニト云フコトハ無論目的デアリマス

ガ、唯ソレバカリデハイケナイノデ、一面

健康ノ増進、從ツテ診療ガ悪クナッテハイケ

ナ、是亦重要ナ點デアリマスノデ、無理ヲシテ人爲的ニ藥價ヲ安クシヨウト云フコト

ト云フモノヲ標準トシテヤル、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマシテ、詳シク申シマスレバ、其ノ現在ノ藥價規定其ノ儘デ契約ヲシロト云フノデハナイノデ、ソレヲ本ニシテ成ルベク安ク出來レバ結構ナノデアリ

マスガ、ソコノ點ハ組合ト醫師會ト能ク話合ヒ、又地方ノ實情ニ依ッテ話合ガ付ケバ、

アノ規定ヨリモ幾ラカ安ク出來ルコトハ無

論希望致シテ居リマス、併シソレガ爲ニ安

クスレバ、醫療ノ内容ガ悪クナルト云フヤ

ウナ虞ノアル場合ニ於キマシテヘ、暫クアノ

規定ニ依ルト云フコトモ是ハ已ムヲ得ヌコト

デセウ、將來ノ目標ト致シマシテヘ、無論ソ

レヨリモ安クナル、爲シ得ルト考ヘルノデ

アリマス、ソレハドウ云フ點カト云フト、此ノ組合ガ出来ルコトニ依リマシテ、今迄醫者ニ

ノマア自由ナ契約ニサスト云フ風ナ御考ノ

ヤウ思ヒマスノデスガ、成ルベクソレハ大

體ノ標準デモ定メオヤリニナル方ガ却テ

其ノ間ニドッカ力ノ強イモノガ押スト云フ

ノマアソレヲ標準ニヤレド云フコトヲ申ス

ノデアリマシテ、ソレカラドノ位引イテヤ

レトカト云フ風ナコト迄ハ指示致サナイノ

デ、組合ト醫師會トノ間、尙其ノ間ニ委員

會ト云フモノヲ設ケテソレニヤラセル、斯

リマス、其ノ方面カラモ、醫師トシテモ安

クシテモ經濟ガ立チ得ルト云フコトモ言ヘ

マセウ、モウ一つハ、現在貧乏ニデ、醫者ニカ、ツテモ藥價ヲ拂ハナイ者ガ相當多イ

ト云フコトハ、是ハ御醫者サンカラ聞イテ

ニカ、ツテモ藥價ヲ拂ハナイ者ガ相當多イ

ト云フコトハ

様ニ考ヘテ居リマス

○濱口儀兵衛君 ソンナ風デアルト、其ノ組合ヲ拵ヘルト云フ時ニ費用ガ幾ラカ、ル……愈、組合ガ出來テソシテ色々醫師會ト交渉シク上デ初メテマア本當ノ豫定ガ付クノデスケレドモ、何カ大體ノ標準ガ決ツテ居ラナイト、組合ヲ拵ヘル方ガ宜イノダガ、組合ハ拵ヘズニ實費診療所ノヤウナモノヲヤッタラ宜イノダカ分ラナクナツテシマフノデスガ、何ダカ多少ノ其準ガアツテ宜イノデヤナイカト思フノデスガ……

○政府委員(清水玄君) 大體ト致シマシテ、藥價、診察料等ノ一定ノ標準ト云フモノハ拵ヘテハゴザイマセヌノデスガ、大體見當ヲ付ケマシタ數字、全國平均デゴザイマガ、サウ云フモノハ一基盤ハゴザイマシテ、他ノ事ヲ御伺ヒ致シタウゴザイマスガ、統計表ナンカデ見マスルト、病人ノ數ハ町村ノ方、田舎ノ方ガ少クテ、都市ニ病人ノ數ガ多イガ、併シ死人ノ方カラ言フト、東京市ナドノ率ヨリモ田舎ノ率ガ多イノデスガ、サウ云フヤウナコトハ色々ノ原因ガゴテ、ソレニ實際組合ヲ設立致シマス場合ニハ、初メノ中ハ十分役人ノ方カラ指導致シマシテ、縣ニモ特殊ノ人モ配置致シマスシスルノデ、十分ニ指導ハ、一々ノ組合ニ就テ土地ノ事情モ調べ、土地ノ病氣ノ狀況モ調べタリ致シマス、ソシテ平均デアリマス基礎ヲ參照シマシテ適當ナ數字ヲ作ル、ソレニ依リマシテ、此ノ組合デ作ルトスレバ此ノ位金ガカ、ルダラウト云フヤウナ一應ノ數字ヲ出シマシテ、ソレニ依ツテ發起人ガ

一ツ此ノ村デ作ツテハドウカト云フコトニナ

リ、村ノ衆ト相談シテ見ヨウト云フ風ナ順序ニナリマス、サウシテ大體出來ルヤウデアリマシタラ、又縣ノ方デ尙ソレヲ指導スル、ソレカラ一步進ンデ來レバ今御話ノアリマシタ國民健康保險委員會ニモ掛ケテ見ルト云フヤウニナリマスノデ、先づ組合ヲ作リマス目鼻ト云フモノハ役人ノ方デ指導致シマシテ、何トカ付ケラレルモノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○濱口儀兵衛君 今ノ事ハソレデ措キマンテ、他ノ事ヲ御伺ヒ致シタウゴザイマスガ、ロサウ云フ風ナ人ハ歡迎シテ御世話シナクテハナラヌト思フノデスガ、サウ云フコトニ付テ、ドウ云フ風ニスル御考デアリマセウカ、御伺ヒ致シタイト思ビマス

○政府委員(進藤誠一君) 地方ノ方ガ市部ヨリ衛生狀態ハ大體良イト考ヘラレマスノニ、死亡率ハ悪イヤウデアリマス、是ハ仰シヤル通り、衛生ノ狀態ハ都會ヨリハ田舎ノウナ人デ、詰リ本當ニ活動ガ出來ナクナツタ人ガ、田舎ニ歸ルト云フヤウナコトニナル爲ニ、田舎ガ割合ニ死人ノ率ガ多イヤウニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ風ニ此ノ國民健康保險組合ハ、成ルベクハ町村全部ノ人ヲ會員ニスルト云フ仕組ニナツテ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデス

ガ、サウスルトスウ云フヤウナ都市カラモウ病氣ニナツテ田舎ニ歸ツテ來タト云フヤウナ者ダトカ、又或ハ地方ニ居リマシテモ從ハ世帶主デスガ、世帶主ヲ組合員ニシテ、ソレガ保険料ヲ拂フ、サウ云フコトニナツテ居リマシテ、被保險者、詰リ病氣ノ場合ニテ入リタイト云フ者ガ出來テ來ル保険組合ニナツタト云フノデ、今度ハ國民健康工デナクナツタト云フノデ、斯様ノデスガ、併シサウ云フ者ハ大體カラ言ヘバ病氣ヤ何カノ人ガ多イノデ、サウ云フ風ナ人ガ入ツテ來ラレルト、健康保險組合ノ方カラ言ヒマスト、大變迷惑ナ話デ、併シ此ノ健康保險組合ヲ作ツタ趣旨カラ言ッタラ、寧ロサウ云フ風ナ人ハ歡迎シテ御世話シナクテハナラヌト思フノデスガ、サウ云フコトニ付テ、ドウ云フ風ニスル御考デアリマセウカ、御伺ヒ致シタイト思ビマス

○濱口儀兵衛君 サウスルト保険料ヲ支拂フ料金ト云フモノハ一世帶ニ家族ガ幾人……多クテモ少クテモ、ソレハ同ジ料金ナノデゴザイマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 其ノ點デゴザイマスガ、大體世帶主ガ組合員デ保険料ヲ出スノデアリマスカラ、先づ保険料ハ一定シタモノヲ作リマシテ、ソレカラ家族ノ數ガ多イ場合ハソレニ對シテ一人ニ付テ何ボ増スト、斯ウ云フ風ニ致スノデアリマス、從ヒマシテ家族ノ數ガ多ケレバ多クナリマスガ、マス細カイ事ハ色々實例ガゴザイマスガ、

超過スルト幾ラヅ、殖エル、斯ンナヤウナ

○濱口儀兵衛君 今ノ場合ハ都會ヨリ歸ツテ來ル人ノ場合デスガ、或ハ併シ其ノ人ガ世帶主ノ場合モ相當多イノデハナイカト思

ヒマス、詰リ健康保険組合ノ職工ガ、職工
デナクナッタ場合ニハ矢張リ世帯主ガ其ノ
國民健康保険組合ノ方ニ入ルコトニナル譯
デスカ、サウスルト健康保険組合ノ方カラ
言フトソソンナ風ニ家族デ田舎カラ都會ニ行ツ
テ死ヌド云フ人ヨリヘ、マア田舎カラ都會
ニ行ツテ居ツテ病氣ニナッテ歸ツテ死ヌ人ノ方
ガ割合ニ多イノデ、ソンナ人ガ村ニ歸ツテ來
ラレルト云フコトハ、今後村トシテハ負擔
ガ一段ト重クナルヤウニ思フノデアリマス
ガ、ソレガ世帶主デアレバ尙更ノコト負擔
ガ重クナッテ來ルノデスガ、何トカサウ云フコ
トニ付テ、モット都合ノ好イ方法ハ付カナイ
モノデセウカ、今ノ儘デヤルト、何ダカソ
コガ少シ工合ガ惡イヤウニ思フノデスガ、
如何ナモノデセウカ

住民ガ餘リ移動シナイト云フ所ニ一番適シ
テ居ルノデアリマス、ソレデ世帶主デアッテ
都會ヘ出テ居ツテ歸ツテ來ルト云フ場合ハ、
カヲ、世帶主ノ家族ニ屬スル場合ト違フ譯
ニナリマスガ、サウ云フコトニナリマス、
サウ云フ場合ニ、其ノ入ツテ來タ世帶主ガ
労働者デアッタ場合ヘ、現在ノ健康保險ニ
入ツテ居ル、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、
國民健康保險組合ニハ入レナイデ、矢張リ
健康保險トシテ保護ヲ受ケル、斯様ニ分界
ヲ立ツテ居リマス、ソレデ御話ノヤウナ移動
シタ場合トカ云フモノニ付キマシテハ、色
色問題ガアルノデアリマスガ、是ヘ將來社
會保險ガ色々ノ種類ノモノガ出来テ行カナ
イト、完全ニピッタリ行カヌト思ヒマスガ、
大體ニ於テ工場労働者トカ、他ノサウ云フ
使人ト云フヤウナモノハ他ノ保險ニ、ソ
レカラ此ノ國民健康保險ハ大體餘リ移動シ
ナイ農村、山村、漁村ト云フ、土地ノ住民
ヲ目標トスル、斯様ニ致シマシテ、兩方ニ
屬スルヤウナ場合ヘ、普通ノ健康保險ニ入ツ
テ居ル者ハ此方ニハ入レナイ、斯ウ云フ風
ニ致シテ居リマス

ガ違ツテ居ルヤウニ思フノデスガ、所謂都會デモ或ハ職工デアツタ人ガ年ガ行ツタ場合ニハ、都會デモ使ハレナクナリマスカラ、寧ドモ、相當ナ人ガ田舎ヘ歸ツテ行ク、殊ニヨウト云フヤウナ場合デアルダケニ、農村ニモ相當此ノ國民健康保険ニ入ツテ居ル人數が多イト思ヒマス、ソレガ或ハ五十歳、或ハ五十五歳、停年ト云フヤウナコトニナッテ、隨分解雇サレルト思ヒマスガ、其ノ人達ハ結局健康保険ノ方ノ保護ハ受ケラレナクナッテ、國民健康保険組合ニハ勿論入レルノデアリマスケレドモ、達者ナ場合ナラバ健康保険ニモ入り易イノデアリマスケレドモ、或ハモウ停年デ辭メルトカ、或ハ體ガ惡イカラ工場ヲ辭メル、今申ス通リ農村デモ相當職工ガアリマスカラ、辭メタ者ハ病氣ノ體デ國民健康保険組合ニ入ルトカ、是ハ入ヌコトハナイケレドモ、國民健康保險組合ノ方デモ隨分迷惑ノコトデアツテ、從ツテ入ル人モ甚ダ入りニクイ譯デアリマスガ、モウ少シ其ノ邊アタリニ保護サレ易イヤウナ方法ガ、何カナイモノカト思フノデアリマスガ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

タヤウナ例ノヤウナ場合ハ、無論農村ニアツ
テ健康保險ニ入ツテ居ル、ソレデ其ノ會社カ
ラ解雇サレテ、矢張リ其ノ農村ニ來ルト云
フ場合ハ此ノ組合ニ入ル、斯ウ云フコトニ
ナリマス、其ノ場合ニ收入ノ途ハナイシ、
負擔ノ困難デアルト云フヤウナコトヘアリ
得ルト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ別ニ
施設ヲ考ヘテ居リマセヌガ、此ノ保険料ハ
總テ組合員一律デハナイノデアリマシテ、
矢張リ貧富ノ差ニ依ツテ保険料ガ差等ガ付
ケテアル、ソレデ先づ是ハ地方々々ノ實狀
ニ合ハシテヤリタイト思ヒマスガ、大體十

○濱口儀兵衛君 チヨット御話ノ途中デス
ガ、私ガ伺ッテルノヘ、其ノ者ガ保険料ノ支拂
能力ガナクナルト云フノデナタ、支拂フダケ
ノ能力ハアルノダケレドモ、僅カノ保険料ヲ
拂ツテ置イテ、サウシテサッキ下村サンカラ
モチヨット御話ガアッタヤウナ風ニ、僅カナ
保険料ハ拂ヒナガラズツト村ノ醫療ヲ受ケ
ナケレバナラヌト云フコトハ本人モ甚ダ迷
惑デスシ心苦シイシ、村ノ方カラ云ウテモ
ドウモ困ツタ奴ガ入ツテ來タト云フヤウナ風
ニナルノデ、保険料ガ拂ヘナイト云フ意味
デヤナク、其ノ病氣ノ人ガ、困難ナ場合ノ、
病氣ノ人ノ數ガ多イト思ヒマスカラ、サウ

云フ人ハ保険料ハ拂ヘルケレドモ其ノ組合ニ入ツテ居ルト云フコトハ、入レナイノデハ

ナイケレドモソレハ理窟ダケデ入レルノデ、併シ本人トシテモ非常ニ心苦シイコトデア

ルシ、ソレカラ村ノ方デモ内心ハ甚ダ迷惑ニ思ツテ居ルノダカラ、何カサウ云フ風ナコ

トニ付テ他ニ適當ナ拔ケ得ル途ガナイト非常ニヤリニクイコト思フノデスガ、其ノ

事ヲ伺ッテルノデス

○政府委員(進藤誠一君) 只今申上ゲマシ

タヤウニ保険料ガ非常ニ安ク入レルカラ入

レルト思ヒマスガ、ソレカラ組合トシテモ

サウ云フ者ガ入りタイト云フ場合ニ拒否ス

レルト云ヒマスガ、ソレカラ組合トシテモ

事實上仕様ガナイヤウニ思ヒマスガ、仰シ

ヤルヤウナ、特別ノ考慮ヲ致シテ居ラヌノ

デアリマス

○濱口儀兵衛君 ドウモ其ノ邊アタリ餘程

何ダカ無理ガアルヤウニ思ヒマスノデスガ、尙一ツ實際ノ場合ニナツタラ其ノ邊ヲ御考

ヘ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ更ニモウ

一ツ伺ヒタイノデスガ、是ハ實ハ私前年モ

同ツタノデスガ、矢張リ此ノ組合デハ治療ス

ル期間ガ勿論組合ノ定款デ決メレバイ、ン

デスガ、多クテモ百八十日トカ位ニナルノ

デスガ、處ガ日本ノ肺病患者ヲ見テモ相當

ナ人數ガアリマシテ、各村ニ入ツテモサウ

云フ人ガ相當アルノデヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ人ガ折角出來タ國民健康

保険組合ノ恵ミニ與レナイ、百八十日以後

ハ與レナイト云フコトニナルノモ隨分氣ノ毒ナ譯ナンデスガ、是ハ救護法ニ依ッテヤ

レルト云フヤウナ御話デアッタノデスガ、併シ是ハ救護法ト云フト「カード」階級トカ何ト

カ云フテ、本當ノ貧困者デナクチヤ實際ニ

扱ヘナイノデセウト思ヒマス、併シ其ノ世

帶主ガ別ニ樂ナ暮デヤナイケレドモ、サウ

貧民ト云フノデヤナイト云コヤウナ場合ニ、

其ノ世帯ノ一員ガ救護法ニ依ッテ助ケラレ

ルト云ヒマスガ、ソレカラ組合トシテモ

ノ方デハヤレスコトヘナイケレドモ、其ノ

家庭ノ人トカ、本人トシテハ非常ニヤリニ

クイ譯デスガ、折角國民健康保險ノヤウナ

モノガ出來ルノダカラ、サウ云フヤウナ人

モ何トカ助カル途ガナイト、救護法ダケ

デ助カルト本當ノ貧民トシテノ扱ヒヲ受ケ

ルノデスガ、繰返シテ申上ゲマスケレドモ

家庭ハ左程貧乏デナイノニ、家庭ノ一員ガ

救護法ヲ受ケルト云フコトガ、ドウモ甚ダ

ソレモ面白クナイコトノヤウニ思フノデス、

ドウ云フ風ニシタラ宜イカ私ハ分ラナイノ

デスガ、前年ニ私ガ伺タ時ニハ何カ再保

險ノヤウナ方法ガナイモノカ、一般カラシテ取ル保険料金ガ假ニ二圓トシマシテモ、ソレニ對シテ二十錢ダケ餘分ノモノデモ

セヌトナカノ實行ガムツカシイ、ソレ等ノ點デアリマスノデ先づ第一ト致シマシテ

ハ大體原則トシテ百八十日ト云フコトヲ基

取ッテ置イテ、ソレニ國庫ノ方デモ相當ノ金

ヲ出シテサウ云フヤウナ本當ノ行詰ル者ニ

対スル、何等カノ施設トシテ折角出來ル健

康保險組合ダカラ、何カ意味ガ徹底スルヤ

ウニ出來ナイカト思フンデスガ、ソレニハ

私ハ再保險ノヤウナモノデモ出來ナイカト

伺ッタノデスガ、其ノ邊ニ付テ大臣ニ伺ッテ

如何デゴザイマセウカ

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 先程來濱口

サンノ御話ノ病氣ニナツテ農村ヘ歸リマス

問題ハ、相當或場合、或地方ニ依ッテハ影

響ガアルコトダト思フノデゴザイマス、政

府委員ノ答辯致シマシタヤウニ、現在ニ於

テハ特ニ其ノ問題ニ付テ考慮サレテ居リマ

セヌノデスガ、サウ云フ問題ハ漸次之ヲ普

及致シマシテ行ク間ニ、マダ色々ナ問題ガ

アルト存ジマスノデ、ソレ等ハ解決シテ行

キタイト思ヒマス、ソレカラ只今ノ後ノ御

述ベノ問題ニ付テモ、大體百八十日位ノ程

度ノコトニ致シテ置キマスレバ、大部分ノ

モノハ何トカソレデ解決著クダラウト思ツ

テ居リマスガ、御話ノヤウニ結核ト云フヤ

考ヘテ居リマスガ、是等モ相當普及致シマセヌトナカノ實行ガムツカシイ、ソレ等ノ點デアリマスノデ先づ第一ト致シマシテ

ハ大體原則トシテ百八十日ト云フコトヲ基

準ニ置イテアル譯デ、將來之ヲ普及サセテ

行ク間ニ十分サウ云フ點ハ考慮シタイト考

ヘテ居リマス

○濱口儀兵衛君 大臣ノ今ノ御考ヲ伺ヒマシテ、大變自分達心強クナツタノデアリマスガ、ドウカ今厚生省出來タ匂々デアルノ

デ、今後吾々ノ申上ゲルコトモ十分考慮ニ

入レテ、大體ニモット補助額ヲ増スト云フヤ

ウナコトモ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、私

ノ質問はデモウ打切りマス

○金杉英五郎君 國民健康保險法ハ申ス迄

モナク農村、山村、漁村、サウ云フ所ノ居

住者、其ノ他中小商工業者、即チ所謂多ク

持タザル者、又治療ヲ受ケル不便ナル場所

ニアル、サウ云フ者ノ爲ニ傷病ノ危險ヲ保

險シ療養ノ機會ヲ與ヘテ、サウシテ經濟的

輕減ト云フヤウナコトモ然ルベキモノデア

リマス、詰リ多ク持タザル者ノ生活ノ安定

及ビ保険増進ヲスルト云フヤウナコトデア

ル、誠ニ現下ノ状況トシテハ緊急ナル名立

法ト私ハ存ズル、是ハ政府ノ理由書ヲ俟ツ

迄モナイ、誠ニ結構ダト云フコトハ、喋々
ヲ要セザルコトデアル、從ツテ此ノ實施ニ當
リマシテ萬遺漏ナキヲ期スルコトガ大切ナ
コトデアルト考ヘルノデアリマス、私ハ本
案調査會ノ委員ノ一人、モアリマシテ、其
今更質問デハアリマセヌ、此ノ内容經緯等
ハ詳シク承知シテ居リマスルケレドモ、
併シナガラ近頃日本醫師會其ノ他ノ方面カ
ラ種々ノ質問ニ接スルコト及ビ、モウ一ツ
ハ過般衆議院ノ特別委員會竝ニ本院ノ各位
ノ御質問ニ對シテモ、御答辯ガ區々デアリ
マシテ、要領ヲ得ザル點二三ヲ發見致シマ
シタ、其ノ爲ニ一般ノ諒解ニ便ナラシム
ガ爲ニ、茲ニ二三ノ條項ヲ摘ミ出シマシテ
御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、詰リ將來
此ノ結構ナ立法ノ實施ニ當リマシテ相剋摩
擦ト云フヤウナコトノ憂ナク、圓滿ニ發達
施行シ得ル、即チ圓滿ニ發達遂行シ得ルヤ
ウニ致シタイト云フコトノ微意ニ外ナラザ
ハ、衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテモ、
又本院ノ各委員ニ於キマシテモ御質問ニ
ナリマシタ點ガ多イノデアリマスル、即チ
重複スルコトガアルカモ知レマセヌケレド
モ、前申上ゲタ通リニドウモ此ノ確然ト了

解シ難キ點ガソコニ現レテ參リマシタノ
デ、今一應御確メシテ置キタイト存ズル次
第デアリマス、第一ニハ代行問題ニ關スル
件デアリマス、本案ノ第五十四條ニ「營利
ノ審議ニ携リタル者デアリマスルガ故ニ、
今更質問デハアリマセヌ、此ノ内容經緯等
ハ詳シク承知シテ居リマスルケレドモ、
併シナガラ近頃日本醫師會其ノ他ノ方面カ
ラ種々ノ質問ニ接スルコト及ビ、モウ一ツ
ハ過般衆議院ノ特別委員會竝ニ本院ノ各位
ノ御質問ニ對シテモ、御答辯ガ區々デアリ
マシテ、要領ヲ得ザル點二三ヲ發見致シマ
シタ、其ノ爲ニ一般ノ諒解ニ便ナラシム
ガ爲ニ、茲ニ二三ノ條項ヲ摘ミ出シマシテ
御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、詰リ將來
此ノ結構ナ立法ノ實施ニ當リマシテ相剋摩
擦ト云フヤウナコトノ憂ナク、圓滿ニ發達
施行シ得ル、即チ圓滿ニ發達遂行シ得ルヤ
ウニ致シタイト云フコトノ微意ニ外ナラザ
ハ、衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテモ、
又本院ノ各委員ニ於キマシテモ御質問ニ
ナリマシタ點ガ多イノデアリマスル、即チ
重複スルコトガアルカモ知レマセヌケレド
モ、前申上ゲタ通リニドウモ此ノ確然ト了

長官ノ許可ヲ受ケ」トアル、其ノ命令ノ内
容及ビ許可條件ハ左ノ事項ヲ絶對必要デア
ルト考ヘマスルガ、此ノ點ハ如何ナルモノ
爲ニ醫療ニ關スル施設ヲ爲スモノハ命令ノ
定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ組合
ノ事業ヲ行フコトヲ得「斯ウ規定致シテア
リマスルガ、此ノ國保組合事業ノ代行ヲ實
際ニ爲シ得ル社團法人トシテ政府ハ如何ナ
ルモノヲ豫想セラル、ノデアルカ、是ガハッ
キリ決ツテ居ラヌト、眞ニ今後ノ施行上相剋
摩擦ヲ來ス因トナルヤウニ考ヘラレルノデ
アリマス、ソレカラ國民健康保健組合ノ事
業ヲ他ノ社團法人ニ代行セシムル本規定
ハ、國民健康保健制度ノ發達普及ノ道程ニ
於ケル過渡期ノ便法デアッテ、以上ノ本質
ヲ考ヘテ見マスル時ニ、本事業ノ將來ハ宜
シク醫療ヲ本然ノ目的トスル國保組合ノミ
ニ委スペキモノデ、從ツテ代行ニ關スル本規
定ニハ一定ノ期限ヲ附シテ施行致シ、以テ
本法ノ精神ノ存スル所ヲ明示スルノ時機到
來スベキヲ期待スルモノデアリマスルガ、
ナル次第デアリマス、デ私ノ伺ヒマスルコト
ハ、衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテモ、
又本院ノ各委員ニ於キマシテモ御質問ニ
ナリマシタ點ガ多イノデアリマスル、即チ
重複スルコトガアルカモ知レマセヌケレド
モ、前申上ゲタ通リニドウモ此ノ確然ト了

第五十四條ノ「命令ノ定ムル所ニ依リ地方
長官ノ許可ヲ受ケ」トアル、其ノ命令ノ内
容及ビ許可條件ハ左ノ事項ヲ絶對必要デア
ルト考ヘマスルガ、此ノ點ハ如何ナルモノ
爲ニ醫療ニ關スル施設ヲ爲スモノハ命令ノ
定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ組合
ノ事業ヲ行フコトヲ得「斯ウ規定致シテア
リマスルガ、此ノ國保組合事業ノ代行ヲ實
際ニ爲シ得ル社團法人トシテ政府ハ如何ナ
ルモノヲ豫想セラル、ノデアルカ、是ガハッ
キリ決ツテ居ラヌト、眞ニ今後ノ施行上相剋
摩擦ヲ來ス因トナルヤウニ考ヘラレルノデ
アリマス、ソレカラ國民健康保健組合ノ事
業ヲ他ノ社團法人ニ代行セシムル本規定
ハ、國民健康保健制度ノ發達普及ノ道程ニ
於ケル過渡期ノ便法デアッテ、以上ノ本質
ヲ考ヘテ見マスル時ニ、本事業ノ將來ハ宜
シク醫療ヲ本然ノ目的トスル國保組合ノミ
ニ委スペキモノデ、從ツテ代行ニ關スル本規
定ニハ一定ノ期限ヲ附シテ施行致シ、以テ
本法ノ精神ノ存スル所ヲ明示スルノ時機到
來スベキヲ期待スルモノデアリマスルガ、
ナル次第デアリマス、デ私ノ伺ヒマスルコト
ハ、衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテモ、
又本院ノ各委員ニ於キマシテモ御質問ニ
ナリマシタ點ガ多イノデアリマスル、即チ
重複スルコトガアルカモ知レマセヌケレド
モ、前申上ゲタ通リニドウモ此ノ確然ト了

方針ヲ採リ、被保險者ニ對シ醫療機關選擇

居ル譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ第三ノ御質問デゴザイマシタ代行ノ許可條件、或ハ代行ニ付テノ省令ノ規定ノ範圍等ガアリマシタガ、是ハ只今御述ベニナリマシタヤウナ條件ニ依リマシテ、代行ノ認可ヲ致シテ行クコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○金杉英五郎君 其ノ次ニ確カメテ置キタイコトハ醫療組織、醫師ノ團體自由選擇主義ニ闘スル點デアリマス、第一ニハ今日醫療ニ直接當面スル我が國醫師ノ大部分ヲ包含スル所ノ日本醫師會ハ夙ニ此ノ種ノ醫療組織、所謂醫師ノ團體自由選擇主義ノ制度化ヲ要望シテ已マザルノデアリマスガ、政府ハ進ンデ其ノ他ノ方法ニ依リ是ガ具現ニ努力スルノ意思ハナイカ、ソレカラ第二ニハ醫師ノ團體自由選擇主義、醫療組織ノ具現ニ關シテハ醫師會ヲシテ之ニ當ラシムルコト、而シテ其ノ範圍ハ少クトモ道府縣ヲ単位トスル道府縣醫師會ヲシテ之ニ任ゼシムルコトガ必要デアル、サウスベキモノデアルト考ヘルガ、ドウ云フ御考ディラッシャルカト云フコトヲ確カメテ置キタイト思ヒマス、是ダケ一ツ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(清水玄君) 自主選擇ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ前々カラモ度々衆議院ニ於テモ御話ガアリマシタガ、自由選擇ニ

依リマシテ被保險者ノ便ヲ計ルト云フコトハ根本ノ方針ト致シテ居リマス、ソレカラ團體契約ニ付キマシテハ是ハ相當便利ナ所モアリマスルノデ、組合自治ヲ害シナイ範圍内ニ於テハ團體契約デモ宜シイ、但シ其ノ團體契約ヲ致シマス相手先ハ醫師會ト致シマシテ縣醫師會デアルトカ、郡醫師會デアルトカ、或ハ日本醫師會デアルトカ云フ風ニ只今コチラデ限定ヲ致ス考ヘ持ッテ居リマセヌ、土地ノ事情ニ依リマシテ適當ニ契約ガ出來マスヤウニ、或ハ場合ニ依リマシテハ個人的ノ契約ノ場合モアリマスガ、適當ニ指導致シタイト考ヘテ居リマス

○金杉英五郎君 大體コチラノ希望通リニ行ク譯デスネ、サウデナイデスカ

○政府委員(清水玄君) 大體前々カラ申上行ニ關シテハ醫師會ヲシテ之ニ當ラシムルゲテ居リマシタヤウナ次第デアリマシテ、上分開業醫側ノ御考ヘ等モ尊重致シマシテ、無理ノ行カヌヤウニ致シタイト思ヒマス、同時ニ組合ノ自治ヲ害スルト云フコトモ是ハ以前ヨリ甚ダシク醫師法ノ精神ニ抵觸シテ居ルモノデアルト云フ議論ガ多イノデアル、斯ウ云フ場合デアリマスルカラシテ、ト云フヤウナコトガナイヤウニ十分注意ヲ致シマシテ、當局トシマシテモ監督ラシタ上デ遺漏ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス觸セザルヤウナ方法ニ致シマセヌト、醫者先程來濱口委員カラモ御話ガアリマシタガ、

○金杉英五郎君 次ハ大臣ニ是ハ伺ヒマス、醫療制度ト云フモノニ對シテ影響ノナイヤウニト云フコトデ指導致シタイト思ヒマス、此ノ點ニ付テハドウ云フ御考デアリマス、此ノ點ニ於テモ非常ナ紛糾ガソコニ起シテ實行上ニ於テモ非常ナ紛糾ガソコニ起シテ來ヤシナイカト云フ懸念ガアルノデアリマス、此ノ點ニ付テハドウ云フ御考デアリマス

○政府委員(清水玄君) 場合ニ於テモ何時デモ摩擦ノ種ニナッタ事

○金杉英五郎君 此ノ點ハ丁度勞働保險ノ柄デアリマスカラ、是ハハッキリシテ置イタ方ガ後ノ爲ニ都合ガ好イト思ヒマスカラ……

次ハ制度ノ運用ニ當リ醫師法第六條ノ二トノ關係ニ付テノ事柄デアリマス、國民健康保険制度運用ニ當リテ醫療ニ關スル或種ノ監査ヲ施行スル場合ノコトデアリマス、即チノ施行方法ハドウシタラ宜カラウカ、是ハ餘程醫師法第六條ノ二トノ關係上必ず摩撲ヲ來ス問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ母子保護法施行規則ニ付テ之ヲ見マシテモ、同規則第八條ハ「市町村長ハ其ノ指定シタル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ナル報告ヲ徵シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得」トスウ云フコトガ規定致シテ居リマス、是ハ以前ヨリ甚ダシク醫師法ノ精神ニ抵觸シテ居ルモノデアルト云フ方法ヲ執リマシテ、濫リニ監査ラスル、餘計ナコトヲスルト云フヤウナコトガナイヤウニ十分注意ヲ致シマシテ、當局トシマシテモ監督ラシタ上デ遺漏ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○金杉英五郎君 次ハ大臣ニ是ハ伺ヒマス、

○金杉英五郎君 次ハ大臣ニ是ハ伺ヒマス、

○金杉英五郎君 次ハ大臣ニ是ハ伺ヒマス、

一日三十錢ノ料理デモ生活ハ保持シテ行カ
レマスガ、醫療ノコトハナカノ安クヤル
ト云フコトノ出來ナイモノデアル、デ詳シ
クハ能ク見マセヌガ、一人當リ誠ニ微少ナ
醫療費デ之ヲ取扱シテ居ル、此ノ頃デハ醫
藥其ノ他治療機關ト云フモノガ非常ニ高ク
ナシテ居ル、例ヘバ「ホルモン」ノ治療トカ「ヴィ
タミン」ノ治療タト云フモノガ多ク、是迄ノ
ヤウニ單ニ重曹ダノ稀鹽酸ダノト云フヤウ
ナモノバカリデヘ濟マナイ、一回ニ一圓モ
二圓モ掛カルヤウナ藥モ澤山アル、是ヘ以テ
來テ唯安價トカ云フヤウナコトバカリ致シマ
シテハ、治療上非常ナソコニ喰違ヒガ出テ

療ガ出來ルモンヂヤナイ、是ガ又病院ナド
デアレバ、犠牲ニナシテモ本當ノ治療ヲス
組合ナドデ、サウ掛リガ掛ツチヤイカヌ、成
ルタケ安クシテ吳レナケレバ困ルト云フコ
トノ起ルノハ當然ノコトデアリマス、其ノ
邊ヲ能ク御考慮ニナリマシテ、本年トハ申
シマセヌガ來年度カラハ澤山ナ豫算ヲ組ン
デ、澤山ナ補助ヲシテヤルト云フコトデナ
ケレバ、此ノ案ニ對シテ眼前ノ目的ヲ達ス
居リマス、此ノ點ニ付御高見ヲ一ツ伺ッテ
置キタイト思ヒマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今金杉サ
ンカラノ御尋ネ御尤デアリマシテ、唯先程
創ノ際、俄ニ經費ヲ殖シテドウト云フ譯ニハ
行キマスマイケレドモ、出來得ルダケハ此
ノ補助費ヲ増シテ、サウシテ此ノ仕事ヲ運
來ル、體位ノ向上ナンテ以テノ外デ、逆モ
出來ナイコトデアリマス、此ノ場合ニハ草
カラ保険院長官カラモ御答ヘ致シマシタヤ
ウニ、單純ニ安價治療ト云フコトヲ目指シ
テ居ルノデハアリマセヌデ、結局相扶共濟
ノ形デ保険制度ヲ利用致シマシテ、成ルベク
醫療ノ機會ヲ比較的簡易ニ受ケ得ル制度ヲ
デアッテ、却テ國民保健上非常ナ有害ニナル
ト云フヤウナコトモ後々起ツテ來ヤシナイ
カナカ今日ハ醫療費ナンカハ高イノデ、此
ノ位ノ補助デハムツカシカラウト云フ御話
デアリマス、是ハ物價ノ騰貴等モアリマシ
テ、相當從來ノ御審議ノ間ニモ伺ッテ居ル
所デアリマス、政府ト致シマシテハ今日提
案致シマシタ此ノ案ニ付テハ、大體是デ實

行スル決意ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ、
御話ノ點等ハ十分考慮致シマシテ、將來不
十分デアレバ補助ノ増額其ノ他十分考慮致
シタイト考ヘテ居リマス

○金杉英五郎君 此ノ衆議院ノ特別委員會
ニ於テ附帶條件ト云フヤウナモノガ澤山出
テ居リマスガ、アレハ大體ニ於テ悉ク御承
認ニナッタ事柄デアリマセウカ、是ハ政府委
員カラ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(廣瀬久忠君) 衆議院ノ附帶決
議、或ハ希望決議等ニ付キマシテハ出來得
ル限リ其ノ趣旨ヲ尊重スルト云フ方針デゴ
ザイマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今ノ醫療
利用組合ト云フモノハ農林省ニ於テ、產業組
合ノ認可ノ際ハ是ハ從來通り認可致シテ行ク
コトニナリマス、從ツテ唯健康保險組合ガ各
方面ニ普及致シマスレバ、自然其ノ必要ガ
ナクナシテ來ル場合モアリマス、又先程清水
政府委員ヨリ御答辯ヲ致シマシタヤウニ、
代行ト云フモノヲ過渡期トシテハ認メテ居
リマセヌ、自然此ノ組合ガ非常ニ良好ナル
成績デ發展シテ參リマスレバ、此ノ方面ニ
向ツテ納助金ト云フヤウナモノガアルノデ
ゴザイマスカラ、自然ニ轉換スル場合モ
アリマセウト思ヒマス、方針ト致シマシテ
之ヲ過渡的ニ、一時ノ便法トシテ扱ハナイ
ト云フノデアリマス

○宇佐美勝夫君 私ハチヨット御尋シテ置
キタイ、金杉サンノ御質問ニ關聯スルノデ
アリマスガ、醫療利用組合ト云フモノヘ過
渡期ニ非ズシテ、過渡期トハ考ヘテ居ナイ、
斯ウ云フ御説明デアッタノデアリマスガ、
此ノ健康保險組合ガ出來マシテモ、從來ノ
如ク農林省デハ產業組合ノ醫療組合ヲ認メ
テ行ク、斯ウ云フ政府ノ方針デセウカ、其ノ
邊ガドウナシテ居リマスカ

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今ノ醫療
組合ヲ認メラレル、許可セラレル場合ニ、

此ノ條件トシテ其ノ組合ガ財政ノ基礎鞏固ト云フコトガアルノデアリマス、其ノ財政上ノ基礎鞏固ト云フコトハ文字ノ上デハ分リマスガ、實際ハドウ云フモノヲ以テ基礎鞏固ト認メラル、御考デアリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 赤字ノアル組合ト云フヤウナモノハ無論イケマセヌ、サウ申シマスルノハ是ハ國民健康保險事業ヲヤル爲ニ補助金ヲヤルノデアリマシテ、從ヒマシテ醫療組合デ赤字ガアッテ、ソレニ補助ガアル場合ニヘ、赤字ヲ埋メルヤウナコトニ使ハレルヤウナコトデハ意味ヲ爲サヌノデアリマスカラ、左様ナ場合ニヘ許サナイノデアリマス

○宇佐美勝夫君 私ハ不思議ニ考ヘマスノ

ハ、許可サル、場合ノ條件トシテ財政上ノ

基礎鞏固ト云フコトハ、從來ノ其ノ組合ノ成績ニ對シテ言ハレルコトデアラウト思フ、

サウスレバ其ノモノニ對シテ先日御尋ねシタヤウニ、サウ云フ風ニ財政上基礎鞏固ナリト云フモノニ對シテ此ノ補助ヲ與ヘル必要ハナイデヤナイカ、一體健康保險組合ノ精神ト云フモノハ、相扶共濟ノ趣旨デハアルケレドモ、亦獨立自營ノ精神モ含マナクチヤナラヌ、處ガ代行ヲ認メラル、組合ガ財政ガ鞏固ダ、斯ウ云フモノヲ認メラ

ル、ニ拘ラズ、尙國家ノ補助ヲヤル、斯ウ云フコトハチヨット了解シニクク思フノデリマスガ、其ノ點ハドウ云フコトニナッテ居リマスガ、其ノ點ハドウ云フ譯デアリマスト、一樣ニ扱フ、斯ウ云フコトニ付テ疑問ヲ持ツテ居リマスカ、ト云フコトニ付テ疑問ヲ持ツテ居リマス

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御尋ネデ

ゴザイマスルガ、醫療利用組合ト、ソレカ

ラ國民健康保險組合トハ非常ニ成立、性質

ガ違フノデアリマシテ、一方ハ醫療ノ設備

ヲシテ、醫療料ヲ一回ヅ、取ヅテ、サウシテ

組合員ニ利用サセルト云フノデアリマスガ、

國民健康保險ノ方ハ保險料ヲ平素カラ集メ

テ置イテ、サウシテ其ノ保險ノ制度ニ依ツテ

醫療ヲサセル、斯ウ云フノデアリマシテ、

從ヒマシテ其ノ保險料ノ一部ヲ政府デ、國

庫負擔デヤシテ行ク、斯ウ云フマア建前ナン

デアリマス、從ヒマシテ赤字ノナイ組合デ

モ矢張リ今迄ノ利用料デ組合員ニ醫療ヲ受

ケサスト云フノデハ、組合員ノ經濟的負擔

ヲ輕減スルト云フコトニナラヌノデアリマ

ス、從ヒマシテ政府ノ補助金ヲヤッテ診療

費ト云フモノヲ安クシテ組合員ノ負擔ヲ輕

クスル、斯ウ云フ必要ガアルノデアリマ

ス、ソレデ若シ其ノ代行サレル醫療組合ニ

剩餘金ガアリマスナラバ、無論ソレヲ利用シテモ宜イノデアリマスガ、ソレハ寧ロ他ノ健康増進ナドノ方ニ使ツテ貰フ方ガ宜イノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ基礎鞏固デアッテモ、矢張リ健康保險ヲ代行サセルモノト致シマスレバ、ドウシテモ補助金ヲヤッテ醫療ヲ受ケサセルト云フ必要ガアルノデアリマス、唯補助金ト、言ヒマシテモ、一律ニ致スノデハナクテ貧弱町村ニ付テハ或ハ多クヤルトカ云フコトモセナケレバナラヌノデアリマスカラ、從ヒマシテ非常ニ金ノ餘ツルト云フヤウナ組合ニ對シテハ、是ハ無論補助ノ率ヲ少クスルト云フコトハ、實際ヤツテ宜イカト思ヒマスガ、是ハ補助ヲヤラナイト云フコトハ不穩當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○宇佐美勝夫君 サウスルト醫療組合ガ保険組合ノ仕事ヲ爲スコトニナルト、餘リヤリ方ハ違ツテ來ルノデアリマス、餘リヤリ方ハ違フ、サウシマスト是ハ國トシテハ統一圖ル上カラシテ產業組合ノ利用組合ハ從來出來テアッタモノハ仕方ガナイケレドモ、將來ハサウ云フモノヲ許サナイ、產業組合デハ許サナインダト云フコトヲ政府トシテ

テ居ル場合ハアリハシナイカ、サウスレバ若シ此ノ補助ヲ與ヘル場合デモ今日迄ヤツテ來タ所ニ又國ノ補助ハ行クト云フコトニナルノデハナイカ、此ノ補助ト云フモノハ一方ノ組合事業ノ補助ニ實際ハナル虞ガアリハセヌカト云フヤウナ色々ナ其處ニ複雜シタ考ヲ起サシメルノデアリマスガ、政府ノ御考トシテハ如何デセウカ

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今ノ御尋

ハ、醫療利用組合ヲ今後ハ許可シナイ方ガ

ノ御考トシテハ如何デセウカ

ハシナイカ、惟フニ産業組合ガ醫療ノ仕事

ヒマス、此ノ點ハ、元來産業組合ト云フノハ、利用組合ト云フモノガ出來マシテ以來色々ノモノヲヤツテ居リマシテ、往々ニシテ世間ノ色々ナ批評ニモナツテ居ル、併シナガラ醫療利用組合ト云フヤウナモノモ、地方ニ依リマシテハ相當ノ成績モ擧ゲテ居リマスノデ、此ノ健康保險組合ヲ施行スルニ付テハ、今後ハ是ヘ許サナイト云フヤウナ劃一的ニツノ方針ヲ決メルト云フコトハドウカト思フノデアリマス、唯漸次國民ノ健康ト云フ事ヲ主トシテ考ヘマスト、此ノ組合ガ普及致シテ参リマスレバ、自然産業組合ノ方面ハ、此ノ方面ニ移ツテ來レバ、醫療組合ト云フモノハ將來ハサウ多數出來ナクテモ宜イグラウト思ヒマス、唯今日ノ所ニ於キマシテハ、此ノ組合ヲ施行スルカラ醫療利用組合ハ今後ハ許サヌト云フ方針ハ、今日ハ政府ハ執チ居ラナイ譯アリマス、ソレカラ只今ノ、之ニ代行サセマス場合ニハ、組合ノ他ノ仕事ニモ補助ガ流レテ行クト云フヤウナ形ニナリハシナイカト云フヤウナ御心配デアリマシタガ、其ノ點ハ十分ニ、例ヘバ特別ノ會計ニ致シマス必要モアリマセウト思ヒマス、全然是ハ保険的ナモノデアリマシテ、他ノ産業組合ノヤッテ居リマス經理トハ全然別ナ形態デゴザイ

マス、ソレハ十分監督致ス考デゴザイマス、又御話ノヤウナ點ガアリマスルノデ、此ノ代行ト云フコトニ付テハ、先程金杉委員が御述ニナリマシタヤウナ條件等ヲ十分斟酌シテ嚴選シテヤルト云フコトニ致スノデアリマスカラ、弊害ハ十分監督シテ是正シテ行ク積リデ居リマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宇佐美君ハオ濟ミニナリマシタカ
○宇佐美勝夫君 大體濟ミマシタガ、チヨット御趣旨ハ分リマシタノデスガ、十分監督シテ他ノ事業ニ流レナイヤウニ監督スルト云フ御話デアリマス、ソレハ尤モ、サウナクチヤナラヌト思ヒマスガ、併シ私ノ心配スル所ハ、ナカ〜ソレハ政府又ハ地方廳ノ監督デヘムツカシイノデ、事實ニ於テハナカ〜ヤリ方ガアリハセヌカ、或ハ流レル處ガアリハセヌカト云フコトヲ思フノデアリマス、ドウカ十分ノ遺漏ナキ監督ラナルヤウニ希望ヲ申シテ置キマス、是デ私ハ終リマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 此ノ際皆様ニ御詰リ致シマスガ、モウ時刻モ過ギマシタガ、午前中ノ會議ハ是デ終ヒタイト思ヒテ出席者左ノ如シ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 厚生次官 廣瀬 久忠君
委員長 伯爵川村鐵太郎君 厚生參與官 山本 芳治君
候爵井上 三郎君 厚生省體力局長 林 信夫君
子爵野村 益三君 厚生省衛生局長 高野 六郎君
子爵伊東二郎丸君 保険院總務局長 佐藤 基君
佐藤 三吉君 保険院社會保險局長 清水 玄君
下村 宏君
男爵高木 喜實君
男爵關 義壽君
宮田 光雄君

○子爵野村益三君 皆様ノ御質疑ノ有無多
少ニ依ツテ御決メニナルコトト思ヒマスガ、此ノ代行ト云フコトニ付テハ、先程金杉委員が御述ニナリマシタヤウナ條件等ヲ十分斟酌シテ嚴選シテヤルト云フコトニ致スノデアリマスカラ、弊害ハ十分監督シテ是正シテ行ク積リデ居リマス

昭和十三年二月二十二日印刷

昭和十三年二月二十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局